



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社角川グループホールディングス
 コード番号 9477 URL <http://www.kadokawa-hd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 辰男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役統括マネジャー (氏名) 高山 康明

TEL 03-3238-8561

四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	121,170	12.7	5,517	△0.1	6,155	3.9	3,001	△14.3
24年3月期第3四半期	107,551	3.0	5,525	2.6	5,926	△1.0	3,503	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 4,092百万円 (50.5%) 24年3月期第3四半期 2,719百万円 (534.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	115.95	102.65
24年3月期第3四半期	136.38	120.32

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	129,451	80,223	61.3
24年3月期	128,751	77,050	59.2

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 79,300百万円 24年3月期 76,231百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	155,000	5.2	8,000	41.4	8,300	40.6	4,700	30.4	181.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	27,260,800 株	24年3月期	27,260,800 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	1,377,406 株	24年3月期	1,377,472 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	25,883,377 株	24年3月期3Q	25,689,677 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（以下「当期」という。）におけるわが国経済は、個人消費が内需を牽引し復調の兆しを見せておりましたが、欧州債務問題や円高・デフレ基調の継続等により不安定な状態で推移いたしました。

こうした環境下、当社グループは出版事業を軸にしながら、その事業領域に留まらずコンテンツを多メディアへ有機的に展開することで、先進的な総合メディア企業への変貌を遂げるため、積極的に諸施策を推進しております。特に、AmazonによるKindleストアの日本市場でのオープンにより飛躍的な成長が現実味を帯びてきた電子書籍市場に対しては、独自の配信プラットフォーム「BOOK☆WALKER」を中心にデジタルコンテンツの充実と拡販を進めております。新規電子書籍ストアに対しても出版業界の先頭に立って意欲的に作品の供給を行っております。

書籍関連では、シリーズ作品の拡充及びメディアミックスを展開することで一般文庫が引き続き好調を持続しております。また、メディアファクトリーのグループ入りでより強固なシェアを獲得したライトノベルも堅調に推移しております。一方、コミックスは、新規作品の積極的な投入、新人作家中心のフェア企画等の施策が重版に結びつかず、返品率が上昇し利益の圧迫要因となりました。

雑誌・広告関連では、市場環境の悪化は依然継続しておりますが、固定費削減など効率化を徹底し、収益力は回復に向かっております。また、スマホ向けサービスによるネット上での既存ブランド活用や、ソーシャルメディアとの協業による新たな広告モデルの創出に取り組んでおります。

映像関連では、劇場映画「貞子3D」の大ヒットやアニメ作品のパッケージ販売が売上増に寄与し、利益貢献への転換を果たしております。引き続き保有するIPの活用、出版と映像のシナジーの最大化で堅実なビジネス基盤の確立を目指してまいります。

ネット・デジタル関連では、出版が創出するコンテンツの展開を加速させております。特に「BOOK☆WALKER」において継続的なキャンペーンや作品投入を進め、売上高の記録更新を続けております。また、新規電子書籍ストアともいち早く交渉を行い、オープン時より多くの作品を供給いたしました。その結果、各ストアの年間ベスト作品の多数を占め、電子書籍市場における存在感を示すことができました。

海外関連では、台湾における出版事業が堅調に推移し、香港でも映画市場の盛り上がりを実感に取り込んでおります。また、ゲーム事業も順調に推移し売上、利益とも伸ばしております。

この結果、当期の連結業績は、売上高1,211億70百万円（前年同期比12.7%増）、営業利益55億17百万円（前年同期比0.1%減）、経常利益61億55百万円（前年同期比3.9%増）、四半期純利益30億1百万円（前年同期比14.3%減）となりました。

なお、セグメント情報との関連は、単一セグメントであるため記載を省略しております。

各ジャンルにおける売上貢献作品は次のとおりであります。

（単行本）

「上昇思考」長友佑都、「光圀伝」沖方丁（角川書店）

「とびだせ どうぶつの森 かんぺきガイドブック」（エンターブレイン）

「とびだせ どうぶつの森 ザ・コンプリートガイド」（アスキー・メディアワークス）

「20歳若く見えるために私が実践している100の習慣」南雲吉則（中経出版）

（文庫）

「天地明察（上）（下）」沖方丁、「おおかみこどもの雨と雪」細田守（角川書店）

「ビブリア古書堂の事件手帖」三上延（アスキー・メディアワークス）

（ライトノベル）

「ソードアート・オンライン」川原礫（アスキー・メディアワークス）

「僕は友達が少ない」平坂読（メディアファクトリー）

「ハイスクールD×D」石踏一榮（富士見書房）

（コミックス）

「新世紀エヴァンゲリオン」貞本義行（角川書店）

「テルマエ・ロマエ」ヤマザキマリ、「乙嫁語り」森薫（エンターブレイン）

「あたしんち」けらえいこ（メディアファクトリー）

(劇場映画)

「貞子3D」「図書館戦争 革命のつばさ」「天地明察」「ハンガー・ゲーム」(角川書店)

(DVD、Blu-ray)

「氷菓」「ストライクウィッチーズ劇場版」「メン・イン・ブラック3」(角川書店)

「僕は友達が少ない」「アクエリオンEVOL」(メディアファクトリー)

(ゲーム)

PS Vita「Fate/stay night[Realta Nua]」(角川書店)

3DS「AKB48+Me」(エンターブレイン)

PS3、Xbox360「LOLLIPOP CHAINSAW」(角川ゲームス)

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産は、前期末に比べて7億円増加し、1,294億51百万円となりました。受取手形及び売掛金並びに繰延税金資産が減少したものの、現金及び預金並びに投資有価証券が増加しました。

負債は、前期末に比べて24億72百万円減少し、492億28百万円となりました。賞与の支給により賞与引当金が減少したことに加えて、未払費用等のその他流動負債が減少しました。

純資産は、前期末に比べて31億72百万円増加し、802億23百万円となりました。四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことに加えて、その他有価証券評価差額金が増加しました。

自己資本比率は、期首に比べて2.1ポイント上がり、61.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く経営環境は、きわめて流動的に変移しておりますが、その中においても当社グループは常に更なる成長を志向し、新規事業への挑戦を続け、市場や顧客のニーズに応えるコンテンツを創出してまいります。

第4四半期におきましては、TVアニメ放送とのメディアミックス作品の拡販、書籍の原価低減と返品率の改善、出版と映像のシナジーを発揮した劇場映画やパッケージ商品の投入、電子書籍の拡販等により業績を伸張してまいります。

通期の連結業績予想につきましては、平成24年4月26日に公表した業績予想からの修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,245	17,775
受取手形及び売掛金	44,315	41,843
有価証券	601	—
たな卸資産	14,061	13,355
繰延税金資産	4,544	3,609
その他	3,578	3,032
貸倒引当金	△110	△64
流動資産合計	79,235	79,551
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,234	7,816
工具、器具及び備品(純額)	1,749	1,638
土地	10,497	10,497
その他(純額)	720	597
有形固定資産合計	21,202	20,548
無形固定資産		
のれん	892	705
その他	2,250	2,575
無形固定資産合計	3,142	3,280
投資その他の資産		
投資有価証券	13,880	15,053
繰延税金資産	1,946	1,578
その他	9,608	9,734
貸倒引当金	△264	△295
投資その他の資産合計	25,170	26,070
固定資産合計	49,515	49,900
資産合計	128,751	129,451

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,780	19,414
短期借入金	121	60
未払法人税等	681	616
賞与引当金	1,366	656
返品調整引当金	3,905	4,058
その他	10,273	9,119
流動負債合計	36,129	33,926
固定負債		
新株予約権付社債	11,000	11,000
長期借入金	175	197
繰延税金負債	349	213
退職給付引当金	2,616	2,710
その他	1,429	1,179
固定負債合計	15,570	15,301
負債合計	51,700	49,228
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,330	26,330
資本剰余金	27,375	27,375
利益剰余金	30,695	32,748
自己株式	△3,932	△3,932
株主資本合計	80,468	82,522
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△885	115
土地再評価差額金	△328	△328
為替換算調整勘定	△3,023	△3,008
その他の包括利益累計額合計	△4,236	△3,221
少数株主持分	819	922
純資産合計	77,050	80,223
負債純資産合計	128,751	129,451

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	107,551	121,170
売上原価	79,191	90,269
売上総利益	28,359	30,900
返品調整引当金戻入額	3,906	3,905
返品調整引当金繰入額	4,225	4,058
差引売上総利益	28,039	30,747
販売費及び一般管理費	22,513	25,229
営業利益	5,525	5,517
営業外収益		
受取利息	36	38
受取配当金	169	175
負ののれん償却額	61	61
持分法による投資利益	—	123
受取保険金	48	171
古紙売却益	124	132
その他	115	53
営業外収益合計	555	756
営業外費用		
支払利息	109	98
持分法による投資損失	33	—
その他	11	20
営業外費用合計	154	119
経常利益	5,926	6,155
特別利益		
持分変動利益	—	115
退職給付制度改定益	19	—
災害損失引当金戻入額	306	—
その他	5	1
特別利益合計	330	116
特別損失		
固定資産除却損	178	38
減損損失	—	124
投資有価証券評価損	872	976
出資金評価損	8	—
会員権評価損	14	9
特別退職金	45	84
その他	0	7
特別損失合計	1,120	1,241
税金等調整前四半期純利益	5,137	5,030
法人税等	1,530	1,957
少数株主損益調整前四半期純利益	3,607	3,073
少数株主利益	103	72
四半期純利益	3,503	3,001

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,607	3,073
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△219	1,000
為替換算調整勘定	△637	17
持分法適用会社に対する持分相当額	△31	1
その他の包括利益合計	△887	1,018
四半期包括利益	2,719	4,092
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,649	4,016
少数株主に係る四半期包括利益	69	75

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。